

令和5年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年2月27日
札幌市立光陽中学校

1. 学校教育目標

未来を築く豊かな人間性の育成をめざして 高い知性を育てる 豊かな心情を育てる 健康な身体を育てる ねばり強い実践力を育てる

2. 今年度の重点推進項目

自己肯定感を高め、授業と家庭学習の充実につなげる 自ら行動する生徒の育成

3. 自己評価結果に対する学校関係者評価

※A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」

A・B・Cは学校評価アンケートから「そう思う」「だいたいそう思う」の合計%から算出。

A…80%以上 B…60%以上 C…60%未満としている。

① 学校教育目標（めざす生徒像）について

分野・領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
よく考えて学ぶ生徒	生徒はどの授業にも意欲的に取り組んでいる。	A 81.6→81.1	・ 中間報告に比べ、全体的には肯定的な回答の割合が増えている。 ・ 一方で、自ら進んで家庭学習に取り組んだり、普段から計画を立てて勉強したりする生徒の割合は少なく依然として課題である。週課題の取り組みを見直すこと、手帳指導を充実させることを検討している。 ・ 挨拶の項目が大幅に改善しAになった。今後もこれを継続していきたい	A	A
	生徒は自ら進んで毎日の家庭学習に取り組んでいる。	C 48.4→49.2			
明るく素直な生徒	生徒はいつでも、誰に対しても明るく挨拶をしている。	A 68.9→84.0			
	生徒は場に応じた正しい言葉づかいができる。	A 81.2→88.0			
丈夫で強い心の生徒	生徒は食事や睡眠に気を配り、健康的な生活を送っている。	B 73.7→73.6			
	生徒はいじめや嫌がらせをせず、友達の良さを理解しようと努めている。	A 90.7→94.0			
ねばり強くやり抜く生徒	生徒は時間を守り、規則正しい生活をしている。	B 71.2→70.0			
	生徒はきまり・心得を意識して生活している。	A 92.0→85.9			
	生徒は行事に一生懸命に取り組んでいる。	A 95.1→94.9			
学校関係者評価委員会による意見等		・「生徒はいつでも、誰に対しても明るく挨拶をしている」がAになったことは嬉しい。 ・「生徒は自ら進んで毎日の家庭学習に取り組んでいる」について、自分で考えるように指導しても、生徒はなかなかできないのが現実だと思う。やらされている部分があったかもしれない。			

② 学校教育目標（めざす教師像）について

分野・領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
楽しくよくわかる授業を進めようとする教師	十分な準備をして、わかる授業をしている。	A 90.0→89.5	・ 中間報告に比べ、全体的には肯定的な回答の割合に変化はない。 ・ 一方で、「教員の資質向上に努める」「時間を守る」「生徒・家族・職場の仲間を大切にすると」の項目では、肯定的な回答の割合がやや減少した。特に、時間については昨年度も低めであるが、業務の多さが負担となっている面は否めない。このことが他の2項目にも影響を与えていると考える。 ・ 管理職の力強いリーダーシップのもと改善を図っていきたい。	A	A
	教育に携わる者として研修に励み、教員としての資質向上に努めている。	A 90.0→84.2			
優しい温かさの中に毅然とした姿勢で支援しようとする教師	適切な服装、適切な言葉づかいを心がけている。	A 85.0→84.2			
	時間を守り、けじめある行動をとっている。	A 80.0→73.7			
人間的なふれあいを通して生徒理解に努力する教師	いつでも、明るくあいさつをしている。	A 90.0→94.7			
	一人一人の生徒理解に努め、一人一人の状況に対応している。	A 100→94.7			
	生徒と家族と職場の仲間を大切にしている。	A 90.0→84.2			
	報告・連絡・相談を心がけ、明るくチームワークの良い職場づくりをしている。	A 100→94.7			
学校関係者評価委員会による意見等	・ 例えば授業時間が伸びることは、やむを得ない場合もあると考えるがやはり好ましくはない。 ・ 「いつでも、明るくあいさつをしている」で、教師の中で「全くそう思わない」と回答した人がいることに驚いている。				

③ 今年度の重点推進項目について

分野・領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
自己肯定感を高め、授業と家庭学習の充実につなげる	授業ならびに家庭学習に関するアンケートのまとめ (項目 1, 2 および授業評価)	B 77.8→79.3	・ どちらの項目も数値の改善傾向は続いている。 ・ 「分かる・できる・楽しい」授業づくりに一層力を入れて、生徒の力を伸ばしていきたい。	A	A
自ら行動する生徒の育成	自ら行動し、実践する生徒	B 66.8→67.8			
学校関係者評価委員会による意見等		・ 「計画を立てて物事を実行する力」は不足していると感じる。 ・ 生徒たちの自主性を育てていくことには賛成である。変化に期待したい。 ・ 週課題についても、教師が必要性をきちんと考えて取組の見直しを進めることに賛成である。 ・ やりとり帳のような取組は、先生方にとって負担にならないのか気がかりである。一方で、生徒の小さな変化に気づく上では大切なものとする。			

4. その他、委員会からの意見等

・教師は、いつ学校評価が行われているのかを知っているのか気になった。（1, 2学期末にそれぞれ学校評価アンケートを実施し、その結果を受けて学校関係者評価委員会を開催していること。委員会で評価していただいた内容は直後の職員会議で共有していることを回答し、納得していただいた。）
